

ニュースフラッシュ NEWS FLASH

新春講演会・賀詞交歓会

茨城中金会・茨城中金ユース会

商工中金水戸支店（羽根正人支店長）の取引先で構成されている茨城中金会（阿部真也会長）と茨城中金ユース会（植田真未代表幹事）合同による新春講演会と賀詞交歓会が、このほど水戸市内のホテルで来賓や会員ら130人が出席し開かれた。

講演会ではシンクタンク・ソフィアバンク副代表の藤沢久美氏が「元気な会社の元気な経営」と題して講演した。同氏は、黒字経営を100年続けている造船会社や口紅・医薬品等食品以外に用途を拡大しているかんてんメーカー、チタン鍍金技術を開発した小規模の鍍金会社など、不況下にあっても元気経営をしている事例を紹介。これら企業に共通するのは、「何のために自社は存在するのか」と原点に戻った経営をしていることであると語った。

賀詞交歓会では、阿部会長の主催者あいさつに続いて細谷茂治県商工労働部長、加藤浩一水戸市長（代理）、幡谷祐一県中小企業団体中央会会長、羽根正人商工中金水戸支店長が来賓を代表してあいさつした。その後、嶋津孝一郎茨城中金会副会長の乾杯の発声で祝宴に入り、今年にける期待や事業展開について活発な情報・意見交換が行われた。

農商工連携人材育成塾で栽培漁業センターを視察

中央会

中央会は、本年度『農商工連携人材育成塾』を実施しているが、このほど鹿嶋市にある「県栽培漁業センター」で実地研修を行ない、塾生25名が参加した。

研修では、センター職員の石川氏から「茨城県の漁業の現状と栽培漁業」について説明を受けた。県では資源管理型漁業を推進しており、水産資源の効果的・持続的な利用と漁業経営の安定を図るため、当センターにおいてヒラメ、アワビ、鹿島灘はまぐりなどの種苗の大量生産・放流を行うとともに量産技術の開発を進め、資源の積極的な増大を図っている。その後、実際に魚介類を栽培している現場に行き栽培の様子などを見学した。

外国人研修・技能実習事業で適正化研修会

中央会

改正出入国管理及び難民認定法の今年7月施行に伴い、外国人研修制度が大きく変更になることから、中央会は、水戸市内で「外国人研修・技能実習事業適正化研修会」を開いた。

新制度では、技能実習生は原則として入国から2ヶ月間は、組合など受入れ団体が行う講習により日本語や修得技能に関する知識、法的保護に必要な情報などを修得し、3ヶ月目から実習実施機関である受入れ企業との雇用契約に基づき業務に従事しながら技能を修得する。

その結果、従来、受入れ団体が送出し機関と提携して行っている技能実習生の受入れは、原則として、職業紹介行為に該当することとなり、職業安定法に基づく職業紹介事業の許可又は届出が必要になる。

研修会では、特定社会保険労務士の山崎和男氏が「職業紹介事業の内容と申請実務」をテーマに講演した。出席した外国人研修生受入れ事業を行なっている組合の関係者らは熱心に聴き入っていた。



Your the best solution partner

アクモス 株式会社 茨城本社

<http://www.acmos.co.jp>

新たな可能性への弛まぬ挑戦

専門性を活かしたオンリーワンのサービス

お客様のパートナーとして ITと人材のベストソリューションを提供します

〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松2713-7
TEL: 029-270-5555 FAX: 029-270-5531

<茨城本社>

JASDAQ 認証コード 6888	本社	東京開発センター	つくば事業所	いわき事業所
	東京都千代田区神田神保町3-23 03-3239-2377	東京都千代田区神田神保町3-23 03-3239-2427	茨城県つくば市梅園2-7-3 029-860-2021	福島県いわき市平字菱川町4-9 0246-21-6585